

厚労科研 大西昭「放射線療法提供体制構築に関する研究」(2023年度)

【研究分担者】
京大附子(東京医療保健大学)

【研究テーマ】
 放射線治療を推進するための看護職の支援体制の構築に向けた検討
—がん放射線療法看護認定看護師(CN)の役割の再編議案—

【研究協力者】
 有医光恵(東京ベイ・浦安市川医療センター)、加藤知子(東邦大学)、
 菅野直子(東京医療センター)、松浦千鶴(玉置医科大学国際医療センター)、
 三上恵子(量子科学技術研究開発機構)、黒尾憲(東京医療センター)

1

【研究目的】
 がん放射線療法看護認定看護師(CN)の活動実態を明らかにし、
 就業実態(診療態勢の状況)を基に認定看護師の配置を改善するための
 方策等)に向けてのヒドデランスを創出する

【研究デザイン】
 質的調査(半構造化インタビュー)

【研究方法】
 がん放射線療法看護認定看護師が配置されている全病院
 (計175病院)を対象に質問紙を郵送配布し、各病院における
 認定看護師の活動状況について
 ①看護部長、②放射線療法看護認定看護師(CN)
 の意見を収集する。

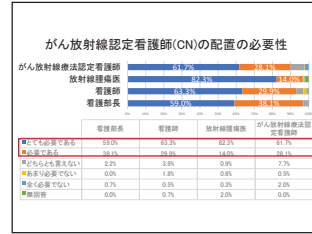
【調査期間】
 2023年6月1日～8月30日

2

【研究結果の概要】

調査票の回収
 > 175病院から質問紙が返送、回収率:65.8%
 > 職種ごとの質問紙への回答者数
 ・看護部長:139名
 ・放射線療法看護認定看護師:350名
 ・看護師:506名
 ・認定看護師:196名

3



4

「がん放射線療法看護認定看護師」の配置により変化した事項
 回答者:看護部長 (n=139)

事項	n	%
特に変わったことはない	3	2.2%
詳しくわからない	8	5.8%
継続した看護技術を用いて患者の高い看護を提供できるようになった	101	72.7%
放射線治療患者のケアが充実した	96	69.3%
がん患者の中で放射線治療をする患者が増加した	9	6.5%
看護職の放射線に対する不安が減少した	51	36.7%
放射線科への配置(放射線科)への転属を希望する看護職員が減少した	2	1.4%
その他	11	7.9%

5

「がん放射線療法看護認定看護師」の配置による変化
 回答者:放射線療法看護認定看護師 (n=350)

変化	n	%
変化なし	277	79.1%
変化したとは思わない	15	4.3%
分らない	58	16.6%

具体的に変わったこと 放射線療法看護認定看護師 (n=277)

事項	n	%
医師からの患者さんへの対応に専門知識が活用された	361	100.0%
医師の患者さんへの対応に専門知識が活用されたために診療体制が改善された	69	24.9%
患者さんへの対応に専門知識が活用されたことにより患者さんの不安が軽減された	280	100.0%
患者さんへの対応に専門知識が活用されたことにより患者さんの不安が軽減された	242	87.4%
診療中の患者さんへのケアがより丁寧になった	273	98.6%
診療中の患者さんへのケアがより丁寧になった	182	65.7%
その他	29	10.5%

6

「がん放射線療法看護認定看護師」がいて良かったと思うこと
 回答者:放射線療法看護認定看護師 (n=586)

事項	n	%
医師には説明しにくいことも説明できる	351	60.0%
なんでも相談できる	430	73.4%
院内で行われている研修では理解できなかったことがわかるようになった	116	20.0%
院内より放射線に関する知識が身についた	216	36.9%
院内より放射線治療に関する知識・技術が身についた	222	37.9%
放射線治療を受ける患者さんへのケアが充実した	263	44.9%
放射線科に転属することの不安(放射線科に転属する不安)が軽減した	113	19.3%
よかったと思うことはない	19	3.2%
その他	41	7.0%

7

現在の就業環境で、「がん放射線療法看護認定看護師」としての役割を發揮できているか
 回答者:認定看護師 (n=194)

役割	n	%
役割を發揮することができている	55	28.1%
満足いく実践活動ができていない	139	70.9%
無回答	2	1.0%

8

満足いく実践活動ができていない理由
 回答者:認定看護師 (n=139)

理由	n	%
院内で認定看護師としての活動範囲が狭まっている	51	36.7%
院内での認定看護師の役割が不明確である	13	9.3%
認定看護師の役割が不明確である	10	7.2%
認定看護師の役割が不明確である	45	32.4%
認定看護師の役割が不明確である	9	6.5%
認定看護師の役割が不明確である	25	18.0%
がん患者のケアに関する知識が不足している	11	7.9%
患者のケアに関する知識が不足している (医師から説明を受けることが希望する)	26	18.7%
放射線治療患者が少ない	12	8.6%
放射線科に転属することの不安がある	24	17.3%
放射線科からの転属を受ける機会がない	14	10.0%
認定看護師としての活動が不足している	100	72.0%
自身の知識・技術が不足している	17	12.2%
その他	26	18.7%

9

今後の課題等

- > 「がん放射線療法看護認定看護師」の知名度、プレゼンスに関する**広報活動**
- > 「がん放射線療法看護認定看護師」の向上のための**研修会等**(日本アソシエーション協会などと連携して)
- > 「がん放射線療法看護認定看護師」の**養成課程**の増加
- > **診療報酬**の「個別改定項目(短冊)」としての取上
 (2024年度改定項目(2024年1月26日)
 「がん放射線療法看護認定看護師」の取上に関する
 放射線治療の原学的管理などの施設内での対応が困難な
 医療行為について医療保険による算定が可能)

10

【厚労科研 大西昭に関連した研究成果の公表状況について】

1) 加藤知子、菅野直子、三上恵子、有医光恵、黒尾憲、菅野直子、厚労科研 大西昭「がん放射線療法看護認定看護師(CN)の役割の再編議案」の件、日本放射線療法看護学会誌2023 11(2):42-52

2) 菅野直子、三上恵子、有医光恵、黒尾憲、加藤知子、菅野直子「放射線療法看護認定看護師(CN)の役割の再編議案」の件、ASTROWELLER 2023 11(2):40-41

3) 加藤知子、三上恵子、有医光恵、菅野直子、黒尾憲、菅野直子「がん放射線療法看護認定看護師(CN)の役割の再編議案」の件、第15回日本放射線療法看護学会第15回学術大会(2024年9月)

11